

巻頭言



会長 中前 和則

地域貢献の必要性

会員各位におかれましては、師走に入り益々ご活躍のことと拝察いたします。

さて、会員の皆様に2つのお知らせとお願いをさせていただきます。

前回のニュースでもお伝えしましたが、少子高齢化がピークに達する2025年に向け、厚生労働省では地域包括ケアシステムの推進及び介護予防事業を推進する中、理学療法士に大きな期待が掛けられています。

既にご存じとは思いますが、昨年11月に出されました厚生労働省医政局医事課長から各都道府県医務主管部(局)長宛(医政医発1127第3号)で、『理学療法士が介護予防事業等において、身体に障害のない者に対して、転倒防止の指導等の診療の補助に該当しない範囲の業務を行うことがあるが、このように理学療法以外の業務を行うときであっても、「理学療法士」という名称を使用することは何ら問題ない。また、このような診療の補助に該当しない範囲の業務を行うときは、医師の指示は不要であること』が通知されています。このことにより、理学療法の対象者が障害のある者のみから、予防も対象となることが確認されました。

県理学療法士協会では、6月に新大阪で行われました日本理学療法士協会による両事業の推進リーダー養成のための研修会に他府県よりも多くの役員を派遣し、県下での導入研修を紀北地区、紀南地区でそれぞれ2回ずつ実施し受講会員への配慮を行い、合計延べ300人程の会員に受講して頂き認定書を渡させて頂きました。

今後、市町村から介護予防事業、地域ケア会議(困難事例会議、推進会議)、研修会等への参加依頼が参りましたら是非参加して頂きたいと存じます。また、施設理学療法士長におかれましては、施設の直近の利益に繋がりにくいもののやがて勤務施設への大きな利益へと繋がり、理学療法士の職域拡大にも繋がることを念頭に、経営陣の方々にご理解を得るようにしてください。

国体支援について

ご存知の通り、平成27年9月に2015紀の国わかやま国体及び紀の国わかやま大会(障害者スポーツ大会)が開催されます。和歌山県では約40年ぶりの国体で、知事をはじめ県下を上げて取り組んでおります。これは、私たち理学療法士にとりましても、県下にアピールする絶好の機会でもあります。現在、既に準アスレチックトレーナーを養成し和歌山県選手団の支援をしています。開催当日には各会場にコンディショニングルームを設置し他府県からの選手の支援を計画しています。開催日が平日であることから、会員の皆様に参加して頂きやすいよう、県病院協会、県老健施設協会等にお申し、各施設に会員の参加への配慮をお願いして頂くことにしております。また、当日は交通費及び日当も用意しています。

ご協力の程、併せてお願いいたします。

理事会 報告

■平成 26 年度第 4 回理事会 報告■

日 時：平成 26 年 6 月 21 日（土） 15:20～19:10

場 所：和歌山ビッグ愛 12 階 協会事務所

参加者：15 名

（理事）中前、林、上西、吉富、森本、岩崎、松井、池田、南、永金、辻中、西川、安井

（監事）川村、浦

（書記）坂本

委任状：前、須賀

議 長：中前

・会長挨拶：総会で前年度の事業報告の承認と今年度の事業計画の報告をいたしました。

皆さん、ご苦労様でした。

同時に行われました役員選挙において 15 名の理事が誕生し、理事の互選で私が会長を務めさせていただくことになりました。今後の会の運営につきまして、改めてご協力をお願いいたします。

議 案：

1. 相談役について会長より木下先生、高田先生を推薦 →承認
2. 副会長を林理事、上西理事、吉富理事に委嘱する→承認
3. 地域局を 4 局に再編する。新局名称を「和歌山市局」とする→承認
4. 和歌山市局を 3 ブロックに再編する→承認
地域包括圏域及び会員数でのブロック割とする。
今年度のガイダンスへの反映は不可能なため、来年度より反映させる。
5. 各局担当理事・各委員会委員長、委員を委嘱する→承認
6. 各局部長・部員を確認→承認
7. 今回の訂正部分を再度事務局より送付し、各局担当理事にて確認する。
8. 入会・復会申請について
入会申請 70 名、復会申請 1 名→承認 今年度合計・・・84 名
9. 定款細則について→承認
永年会員規程で、30 年以上の会員歴の年数は他府県士会の会員歴も加算できる事とする。
夫婦会員会費減額制度について一部修正
10. 会務分掌規程について→承認
11. 会費減額規程について→承認
12. 各局からの報告・提案：
 - 1) 事務局：別紙資料にそって報告→承認
6 月 17 日現在 会員数 1,026 名
現在ガイダンス作成中（6 月 15 日現在で作成）7 月発送予定で準備をすすめている。
すべての原稿締め切り 6 月 24 日（火）
会費未納や休会更新手続き不備による退会者が増加している。休会更新手続きが毎年になっているところを以前の様に 5 年毎に戻す事により休会更新不備による退会者が減少するのではないかと予測されるので、日理協に改正の提案をする。
勤務地が変わる時に事務局への異動届を出しておらず、所在が確認出来ない会員が増加しており、事務局として所在不明者として扱い、ガイダンスへの掲載や、郵送物の発送を停止する措置を取っている。
ガイダンスに掲載する、各ブロックの連絡網は、非常時の対策の意味合いも込めて継続して掲載する事とする。
 - 2) 学術局：別紙資料にそって報告→承認
第 56 回近畿理学療法学会大会開催について
開催予定日（案）
平成 28 年（2016 年）11 月 5 日（土）6 日（日）、11 月 12 日（土）13 日（日）
11 月 19 日（土）20 日（日）、11 月 26 日（土）27 日（日）
会場：和歌山県民文化会館
日本理学療法士協会分科学会とのコラボレーションの検討も含め、2 日間にわたって開催するかも含めて本年 11 月頃までに日程を決定する。

3) 福祉・保健局：別紙資料にそって報告→承認

「地域包括ケア推進リーダー モデル導入研修」、「介護予防推進リーダー モデル導入研修」について

「理学療法週間 介護予防推進キャンペーン 全国統一イベント開催」について

地域包括ケアシステムの「地域包括ケア推進リーダー」「介護予防推進リーダー」の育成を早期に計画実行する。

必要数概算は各市町村3名程度として100名程度必要か？

推薦者の条件枠は県士会理事・部長・部員と、「訪問リハビリテーション実務者研修会の参加者（2日間）」を基本とし応募状況をみて今後検討する。

推薦を受けた会員はeラーニングの受講免除となる。

導入研修は県内2カ所で行う事とする。

施設の長を対象に地域包括ケアシステムの推進リーダー研修に関する説明会を8月3日（日）の連盟研修会の後に開催する案と社会局での各施設理学療法士長対象研修に併せて開催する案とどちらにするか今後検討する。

認定条件の士会指定事業の運営参加があるが、各局の事業運営協力者の募集は全会員に行う事とする。

4) 社会局：別紙資料にそって報告→承認

施設長研修会を早急に計画する。

5) 厚生局：別紙資料にそって報告→承認

6) 広報局：別紙資料にそって報告→承認

7) 紀北地域局：本日各部部長・部員が承認されたので、早急に局内会議を開催予定

8) 和歌山市地域局：別紙資料にそって報告→承認

9) 中紀地域局：別紙資料にそって報告→承認

10) 紀南地域局：別紙資料にそって報告→承認

11) 財務局：別紙資料にそって報告（代理：森本）

① 会費未納者に対する協会事業への参加制限について→未納者リストをMLで定期的に報告する。

② 夫婦会員の会費減額について

12) 代議員：別紙資料にそって報告→承認

■平成 26 年度第 5 回拡大理事会 報告■

日 時：平成 26 年 7 月 12 日（土） 15:30～18:30

場 所：アバローム紀の国 3 階 孔雀の間

参加者：理事 14 名、監事 2 名、部長 24 名

（理事）中前、林、上西、吉富、森本、前、岩崎、松井、須賀、南、永金、辻中、西川、安井

（監事）川村、浦

（書記）前

（部長）小田、坂口、酒井、餅越、山崎、小池、浅見、原野、三嶋、林元、中口、青石、岸尾、

鳥淵、藤野、杉本、石橋、上野山、阪口、岩城、船越、田川、鍋嶋、泉

欠席者：（理事）池田

（相談役）木下、高田

（部長）坂本、中尾、木下、赤澤、貴志、津村、大西、吉田、小林、橋尾、西畑

委任状：池田

・会長挨拶：ご多忙の中、ご参集頂き誠に有り難うございます。委嘱につきましては、簡略化させて頂き発表や意見交換に時間をかけたいと思いますのでよろしくお願い致します。

1. 会員が 1000 名を超え、看護協会に次ぐ会員数となりました。当協会は、理学療法士の職能団体として、学術、公益、狭義の職能活動を 3 本柱として活動していきます。

2. これからは都道府県士会が日理協を支える気持ちで、自主性と自立性を持って支えて行かなければなりません。

3. 当協会の組織改革として、

和理協会の副会長を本年度より 3 名とした（林氏・上西氏・吉富氏）

地域局の紀北地域局を、紀北地域局（永金氏）と和歌山市局（辻中氏）の 2 つに分けました。

4. 日理協会の動向

地域包括ケアシステムの推進について

日本理学療法士協会の本年度の最大の取り組みは、都道府県士会の地域包括ケアシステムへの参画の協力である。そのための渉外活動、人材育成に向けた支援を行う。

具体的には、県・市町村への渉外活動、地域包括ケア推進リーダー研修、介護予防リーダー研修の導入研修を実施し、各都道府県士会でそれを受けて実施して貰う。
ねらいは、市町村における理学療法士の職域の確保と拡大である。
理学療法士がどう問われるか、理学療法士の職域拡大に努める。
都道府県士会の支援をすべく、担当理事・特別委員会が組織されています。

5. 和理協の重点課題

- 1) 組織力の強化
- 2) 新人教育プログラム、生涯学習プログラムの履修促進
- 3) 地域包括ケアシステムの推進部の創設
- 4) 職能活動として

県補助金事業への参画 地域再生補助金事業 3年で800万円

国の医療・介護に関する新たな基金（補助金事業）について県に申請中

国から和歌山県に9億円、その内今回の申請事業は200万円を申請中

課題への取り組みに当たり、皆様のご協力をよろしくお願いします。

・委嘱状授与：委嘱式を省略して席に配布する。

議 案：

1. 入会・復会申請の承認について

入会申請1名、復会申請1名→承認

2. 各局からの報告・提案：

1) 事務局：森本

7月8日現在 会員数1,030名

現在ガイドンス印刷中（6月15日現在で作成）7月発送予定で準備をすすめている。

庶務部（小田）→会員からの連絡を要請する。

会員管理（坂口）→現在ガイドンス作成中、7月中に配送予定である。

会員の所在不明者が7～8名いる、各ブロック等より不明者が出ないよう協力をお願いする。

資料調査管理部（酒井）→当部について説明する。

会長より 事務員の雇用が困難であり、会への電話は琴の浦リハのスタッフが受けていることを皆さんに理解しておいて頂きたい。また、会費納入について楽天カード支払いを推奨しています。

2) 学術局：上西

研修部（小池）→事業計画を説明

学会部（代理：上西）→学会日程は3月1日予定、田辺地方を検討している。

新人教育部（浅見）→新人教育プログラム計画について説明する。

生涯学習部（原野）→理学療法士講習会について説明する。

専門領域研究部（代理：上西）→今後計画していきたい。

管理運用部（三嶋）→HPへの掲載を実施、地域包括ケアに関する研修会の登録について連絡を要請する。

3) 福祉・保健局：松井

各事業について松井理事より簡単に説明あり。

地域包括ケア推進部（林元）→事業の計画について説明あり。

地域リハ事業推進部（中口）→事業について説明、地域リハ講座2回開催予定、その他市町村に事業に参加予定

リハ支援体制推進部（岸尾）→事業について説明あり。

健康推進部（鳥淵）→事業計画について未定であり、今後案内予定

「地域包括ケア推進研修」について

「介護予防推進リーダー研修」について

「理学療法週間 介護予防推進キャンペーン 全国統一イベント開催」について岩崎より説明

①導入研修について説明

②リーダー履修要件について説明

③説明会の開催について説明

④e-ラーニング免除対象について説明 免除の申込が必要となる。

⑤e-ラーニングを終了していないと、導入研修が受講できない。

4) 社会局：（代理：藤野）

知事とコメディカル・スタッフ及び病院協会長との懇談会開催

中前会長からも説明あり。

施設の理学療法士長研修会について説明

日本公衆衛生学会近畿地方会参加の案内あり。

診療報酬身分対策部（杉本）研修開催の方向あり。

5) 厚生局：南

福利厚生部（代理：南）→事業の報告、事業計画説明あり。

対外交流部（石橋）→事業への協力要請あり。

6) 広報局：吉富

メディアを活用して広報して欲しいなど、日理協からも要請あり。

広報局としてはどんどん活用したいと計画している。

新聞広告（理学療法の日）も予定

B F 体験学習会について説明

来年は高野山開山 1200 年記念事業あり、当会も何か計画する予定としている。

会誌編集部（上野山）

広報推進部（阪口）→広報の大切さを説明

対外広報活動部（代理：吉富）

I T 部（岩城）→HP 一新の報告あり、内容の説明あり。研修会等は事務局とタイアップしている等を説明。事業バッティングを避けるためのカレンダーの新設も説明あり。

7) 紀北地域局：永金

第 1 ブロック（船越）→事業報告、事業計画を説明

8) 和歌山市地域局：辻中

第 2 a ブロック（代理：辻中）→事業予定を説明

第 2 b ブロック（田川）→事業予定を説明

第 2 c ブロック（代理：辻中）→事業予定を説明

9) 中紀地域局：西川

事業の予定を説明

第 3 ブロック（鍋島）→ブロック研修会について説明

第 4 ブロック（代理：西川）

10) 紀南地域局：安井

第 5 ブロック（泉）→事業を進めるにあたり協力要請される。

第 6 ブロック（代理：安井）→事業予定を説明

11) 財務局：前

会費未納者リスト提示

会費未納者の事業参加制限について、また夫婦会員減額についての制限について双方共に是非とも皆様のご理解ご協力を頂きたい。また、未納者への声かけ等のご協力を頂きたい。

出納部（前）→財産管理部・会費部と連携しながら出納管理を進めたい。

会費部（餅越）→会費未納者について説明、今後の会費督促予定を提示（日理協会と連携）

財産管理部（山崎）→出納部と連携して財産管理を進める予定

3. その他

1) 国体開催時の救護所への理学療法士 1 名の派遣依頼について（林）→承認

和歌山市より救護所への派遣依頼あり平成 27 年 9 月 8 日より 13 日まで、ビッグホエールにて開催

2) 国体支援について（林）

競技別日程（障害者スポーツ大会含む）と必要人数一覧を提示

3) 介護予防市町村支援事業実施に関する研修（3 協会への厚労省からの説明会）出席者について

中前会長・岩崎理事（地域包括ケア担当）のどちらかで出席予定

4) 日理協 倫理担当者研修会への参加について

監事、浦・川村のどちらかが出席予定

4. 監事挨拶（浦・川村）

5. 特別委員会について説明

災害特別委員会（岩崎）

先日の研修会について報告あり、今後の予定の説明あり。

組織のあり方として、被災した場合を想定した組織作りが必要であり、今後検討予定

■平成 26 年度第 6 回理事会 報告■

日 時：平成 26 年 9 月 13 日（土） 15:20～19:10

場 所：和歌山ビッグ愛 12 階 協会事務所

参加者：13 名

（理事）中前、林、上西、森本、岩崎、松井、須賀、池田、南、永金、辻中

（監事）川村、浦

（書記）松井

委任状：前、吉富、西川、安井

議 長：中前

議事録署名人：中前、川村、浦

議事録作成者：森本

- ・会長挨拶：地域包括ケアシステム・介護予防について、和歌山県理学療法士協会全体で応援していきたい。

議 案：

1. 入会申請等について

入会申請 1 名（きのしたクリニック 豊田真大氏）→承認

復会、退会者なし

異動等については別紙 平成 26 年 9 月 9 日現在 会員数：1,029 名

昨日付で県外異動・休会 1 名ずつ 本日現在 1,027 名

2. 地域包括ケアに関する圏域担当者および地域ケア会議担当者候補（案）について

中前会長より

- ・PT/OT/ST 3 団体に協力してほしいと国/県から要請あり。
- ・日本理学療法士協会ではアクションプランをほぼ全都道府県で平成 26 年 10 月 8 日までに作成予定
- ・和歌山県は先行アクションプランとして作成している。
- ・和歌山県内の OT・ST に協力体制を要請し、承諾済み。
- ・介護予防事業について和歌山県内では和歌山大学本山方式で行っている。
- 和歌山県理学療法士協会も本山先生に協力していく方向で考える（本山先生を講師で研修会など）。
- ・介護予防の講師として大分県の竹村先生を依頼する→検討

岩崎理事より

資料（支部担当案）に沿って議案→承認

- ・医療福祉圏域：和歌山市は 8 つの圏域。その他は市町村にて分割。和歌山県内 37 か所。
- ・和歌山理学療法士協会として支部担当として行いたい。
- ・地域包括ケア推進リーダーは地域推進個別会議を中心に、地域ケア推進会議は方針として
- ・橋本市・高野町・かつらぎ町・太地町・北山村に人材が必要
- 橋本市に関しては橋本市民の槻木先生はどうか？
- もう一度岩崎理事より支部担当の検討を地域局長と一緒に（全域に 1 名は名前が挙がるように）。
- ・地域ケア推進会議担当に OT を入れるのはどうか？→承認 資料作成
- 担当者候補について、重複者のあるところは他の人選も検討する。

中前会長より

- ・支部担当に関して、和歌山県内市町村に提出していく予定
- ・理事、監事は推進リーダー導入研修参加をお願いしたいとのこと。

3. 第 56 回近畿理学療法学会大会開催について

開催予定日（案）

会場：和歌山県民文化会館

コメディカル（病院協会）の研修会との兼ね合いを考慮

池田理事より

- ・今年度より日程の変更があるかもしれないので現状は不明
- 第 1 候補 11 月 26・27 日
- 第 2 候補 11 月 19・20 日→承認

上西副会長より

- ・コンベンションの補助金（県より）の申請の検討を行う。

日本理学療法士協会より分科学会とのコラボレーション→検討

近畿学会の日程の検討（1 日間か 2 日間か？）

上西副会長より

- ・全国では 2 日間が多い。近畿は 1 日間で行っている。来年度兵庫県で初めて 2 日間を試みる。
- ・近畿では 2 日間を実施していくと話している。

中前会長より

- ・大阪・兵庫では 2 日間は可能だが、他の近畿県ではどうか？
- ・学会評議員会より分科学会について、自立が独立になったら困ること。
- ・日本理学療法士協会の会員として参加してほしいとの要望

4. 新たな財政支援制度（基金）に係る事業提案について

中前会長より

- ・平成 26 年度地域医療再生補助金（長寿社会課）申請済み。
- ・消費税増税による基金として、今年度補助金を申請している（学術局・福祉保健局）。
- ・来年度は介護（長寿社会課）の財政支援制度を申請予定（導入研修だけでも）
- ・平成 28 年度にもう一度申請予定

岩崎理事より

- ・来年度の推進リーダー研修に基金を申請するが、賄えない状況である。
- ・既存の事業は県や市などの補助金、基金であり、新たに事業を作るのは困難

5. 各局からの報告・提案：

1) 事務局：

- ・改定影響調査対象施設推薦依頼について日理協に回答→承認
- ・全国一斉キャンペーン アンケートについて日理協に回答→承認
来年度はイオンと共同で開催予定
- ・事務局の PC（XP）で容量が足りなくなっていて、不具合も出ている。
パソコン 4 台購入について→承認

2) 学術局：別紙資料にそって報告→承認

3) 福祉・保健局：別紙資料にそって報告→承認

- ・訪問リハビリテーション研修会については会場の都合もあり、決定にはしばらく時間が必要
2 月か 3 月（2 月の半ば OT 研修会、3 月 15 日 PT 県学会など）

森本理事より

- ・年度末では間に合わないので早めの計画をお願いしたい

4) 社会局：別紙資料にそって報告→承認

5) 厚生局：別紙資料にそって報告→承認

6) 広報局：別紙資料にそって報告 森本理事より→承認

ホームページについて：ホームページに載せる研修会の選定を行っている（研修会の数が多すぎる）。

7) 紀北地域局：別紙資料にそって報告→承認

8) 和歌山市地域局：別紙資料にそって報告→承認

9) 中紀地域局：別紙資料にそって報告 森本理事より→承認

10) 紀南地域局：別紙資料にそって報告 森本理事より→承認

11) 財務局：別紙資料にそって報告 森本理事より→承認

- ・会費未納者リスト（9.10 現在）提示

6. その他

- ・和歌山県医療功労知事感謝状受賞候補者選考基準について
池田理事より：別紙資料 1～4 より承認をお願いしたい→承認
- ・日理協選挙管理運営委員会（9 月 27 日）に中畑委員長出席予定→承認
- ・国体サポートについて
林副会長より：来週火曜日（平成 26 年 9 月 16 日）より全体的な会議を行う予定
- ・和歌山理学療法士連盟について
今後、南理事（連盟副会長）が理事会へ報告する。

■平成 26 年度第 7 回理事会 報告■

日 時：平成 26 年 11 月 8 日（土） 15:30～19:00

場 所：和歌山ビッグ愛 12 階 協会事務所

参加者：16 名

（理事）中前、林、上西、吉富、森本、前、岩崎、松井、須賀、池田、南、永金、辻中、安井

（監事）川村、浦

（書記）坂本

委任状：西川

議 案：

1. 会員異動申請について→承認

入会、退会申請なし

異動等については別紙

2. 近畿学術大会について→承認

次年度第 55 回大会（兵庫）は 2 日開催のため士会分担金を 500 円から 750 円とする。

3. 各局からの報告・提案：

1) 事務局：別紙資料にそって報告→承認

・死亡退会者 田辺中央病院 濱中 和敬氏（詳細不明）→地域局より調査を行う。

異動等については別紙 平成 26 年 11 月 4 日現在 会員数：1,027 名

・事務局総務部より、日理協からのメールを転送する機会が非常に多くなっている。

各局で必要な内容について対応をお願いする。

・平成 26 年度がんのリハビリテーション研修会 in 和歌山（平成 27 年 1 月 31 日～2 月 1 日 和歌山医大）
広報をお願いする予定

・「リー・フォー・ライフ・ジャパン 2015 わかやま」後援依頼あり→承認

2) 学術局：別紙資料にそって報告→承認

第 56 回近畿理学療法学術大会開催について→承認

開催予定日

平成 28 年（2016 年）11 月 26 日（土）・27 日（日）で決定

会場：和歌山県民文化会館

大会長：上西啓裕

副大会長：中前和則、池田吉邦

準備委員長：小池有美

参加費案として当日 5,000 円とし、事前登録は 4,000 円をベースに検討中

3) 福祉・保健局：別紙資料にそって報告→承認

「地域包括ケア推進リーダー モデル導入研修」、「介護予防推進リーダー モデル導入研修」について

・来年度以降の研修会開催は OT・ST も含めた参加も検討する。

・予算は地域医療再生補助金からの充当を検討する。

・和歌山シニアエクササイズ講習会を本山先生を招いて開催し、認定証も交付できるような内容で開催できないか検討

・対象者の評価を理学療法士が独自に行う評価チャート等を用いて行い、本山方式のエクササイズを行うような方法を模索できないか検討

・地域包括ケアシステムについて士会組織内での対策本部の設置の検討が必要
→対策委員会を設置する。

・他職種との連携強化が必要か検討

・窓口事務強化が必要

・地域包括ケアシステムに参加するに当たり、理学療法士の紹介パンフレット等の作成が必要か検討

・渉外活動に対する費用が必要

・森本喬也先生（栗原整形）を部員に委嘱

4) 社会局：別紙資料にそって報告→承認

5) 厚生局：別紙資料にそって報告→承認

6) 広報局：別紙資料にそって報告→承認

・IT 部長を岩城先生の県外異動に伴い川端 一世（日赤）IT 部員を部長に昇格

・本日 11 月 8 日理事会承認として本日付で委嘱とする。

・地域医療再生補助金にて映画「言葉のきずな」別紙資料の上映会を POS 合同で企画

→ 試写会を行った上で実施するか検討する。

試写会を11月18日（火）19時00～ 日赤和歌山医療センター リハ室にて行う。

また、上映会と他の講演会等を併せて行うか。

広報局にて、作業療法士会、言語聴覚士会と協力調整しながら企画運営する。

- 7) 紀北地域局：別紙資料にそって報告→承認
 - 8) 和歌山市地域局：別紙資料にそって報告→承認
 - ・プライマリケア 由利健先生を部員に委嘱
 - 9) 中紀地域局：別紙資料にそって報告→承認
 - 10) 紀南地域局：別紙資料にそって報告→承認
 - 11) 財務局：
 - ・委託事業への協力会員に対する講師料等の支給（地域リハ、バリアフリー体験等）について、講師料を受け取る事で所得税の税率が変わる者が出る可能性があるため、支給方法を再検討する→承認
 - 12) 代議員：別紙資料にそって報告→承認
4. その他
- 1) 新たな財政支援制度（基金）に係る事業提案について：別紙資料にそって報告
長寿社会課へ申請していた27年度分はなし。28年度に予定
 - 2) (公社) 日本理学療法士協会平成26年度組織運営協議会報告：別紙資料にそって報告
 - 3) 紀の国わかやま国体支援特別委員会支援事業について：別紙資料にそって報告
競技別に早い時期より協力者を募集し、各競技別に研修会等を開催したい。
協力者が満たない場合は各施設に直接参加依頼をし、動員することも検討する。
 - 4) 倫理委員会研修会報告：別紙資料にそって報告
2009年10月以降に上申された29件の不詳事例を検討

次回理事会は 1月24日（土） アバローム紀の国にて 15：30～ 開催

福祉・保健局より

福祉・保健局長 松井 有史

福祉保健局では、「地域包括ケアシステム」を見据え事業展開しております。今年の7月から9月にかけて説明会を計8回実施し、10月から地域包括ケア推進リーダー導入研修会及び介護予防推進リーダー導入研修会を実施しました。我々が予想していたよりはるかに多くご参加頂き、急遽会場の変更させて頂いたことをお詫び申し上げます。今後も引き続き「地域」のニーズに答えられる理学療法士として共に研鑽できればと思います。11月30日に紀南地区で今年度最後の介護予防推進リーダー導入研修会を実施する予定です。

また、7月から11月にかけて県や市からの委託事業も実施しておりますので下記をご覧頂けたらと思います。

予定としましては、3月7・8日に「訪問リハビリテーション研修会」を実施致します。詳細は後日連絡しますが、地域リハビリテーションの一角を担う「訪問リハビリテーション」の研修会ですので、是非ともご参加ください。

◇全国介護予防推進デイ事業（広報局共催）

福祉・保健局長 岩崎 正和

地域包括ケアの推進に伴い介護予防施策が今後ますます重要になります。日本理学療法士協会より理学療法の日に合わせ7月13日（日）に全国一斉に介護予防事業を行うこととなり、福祉保健局から「介護予防市民セミナー（介護予防で元気を呼ぼう！～膝痛・腰痛ゼロ作戦～）」と題し、地域住民対象に介護予防事業を実施致しました。ご協力・ご参加いただきました先生方、ありがとうございました。

日 時：平成26年7月13日（土）

場 所：有田川町金屋文化センター 有田川町金屋7番地

内 容：①和歌山県理学療法士協会副会長 吉富先生 挨拶

②地域住民対象介護予防講座『介護予防で元気を呼ぼう！～膝痛・腰痛ゼロ作戦』

③身体機能評価

④評価後運動指導

⑤身体機能評価結果説明

講師：大渕 修一 先生（地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所
高齢者健康増進事業支援室長、在宅療養支援研究副部長）

参加者：吉富・玉置（日赤和歌山）、阪口（海南医療）、岩崎・竹中（栗原整形）、龍神（龍神整形）
西川・宮本（老健リバティ博愛）、佐野（済生会有田）、林元（訪看はやしもと）、川口（中谷病院）
奈良岡（有田市立）、小橋・畑中（恵友病院）、松井（国際厚生学院）、小畑（こばた訪看）、
西本（寺下病院）、林（貴志川リハ）、阿川（辻秀輝整形）、脇田（はしもと整形）、
川岸（老健クリティイ）、岸尾（くしもと町立）、鳥渕（訪看ふるさと）、須賀（白浜はまゆう）



「全国介護予防推進デイ事業に参加して」

寺下病院 西本 憲輔

7月13日に有田川町金屋文化センターで地域高齢者対象に介護予防事業に参加させていただきました。

約60名（平均年齢70歳前後）の応募があり、当日参加していただいた方々をみると、とてもパワフルで圧倒されました。まず初めに大渕先生による「介護予防で元気を呼ぼう！～膝痛・腰痛ゼロ作戦～」の講義があり、その中で体を動かす体操等、皆さん真剣に取り組んでいました。

その後、我々和歌山県理学療法士協会による身体機能評価を行いました。評価項目は長坐位体前屈（柔軟性）、姿勢評価、10m歩行測定、30秒立ち上がりテスト、膝伸展筋力でした。私は膝伸展筋力測定の担当でしたが、参加者の中には力が強すぎて自分の体がはじかれるほどの強者もおられました。



最後には評価後運動指導を大渕先生、身体機能評価の結果説明を和歌山国際厚生学院の松井先生が行い、終了しました。



地域包括ケアシステムが推進されている最中、我々理学療法士が参入していく必要があると強く感じております。理学療法士は1対1のアプローチには強いですが、多数になると力が発揮できない可能性があります。しかし、介護予防における理学療法士の強みは、「評価（予後予測）」「個々の目標設定」です。この事業に参加して、今後理学療法士が求められる資質に関してとても勉強になりました。今後も和歌山県理学療法士協会を通じ、社会の為、理学療法士の為、自分の将来の為、参加していく所存です。

◇「腰痛を起こさない介護技術研修」

介護保険対策部長 赤澤 直紀

和歌山、新宮、北山村に至るまで、県全域から介護に従事する方々に参加を頂きました。参加者の皆様が熱心に取り組んで頂いた結果、研修は盛会となり、我々の腰痛予防に関する知識・技術を十分に伝達することができたのではないかと思います。運営にご協力頂きました先生方に御礼申し上げます。

事業名：「腰痛を起こさない介護技術研修」～介護現場の腰痛予防対策～

主 催：和歌山県社会福祉協議会

日 時：平成26年7月13日（日）

会 場：ビッグ愛 展示ホール

講 師：山本哲生（紀州訪問看護）、赤澤直紀（河西田村）

対象者：和歌山県の施設・在宅介護従事者 38 名

参加者：中口（有田市立）、大西（真寿苑）、岩崎（さくらクリニック）、河口（寺下）、大川・中谷（河西田村）



「腰痛予防・介護技術指導者育成研修に参加して」

河西田村病院 中谷 聖史

平成26年7月13日（日）に県民交流プラザ和歌山ビッグ愛にて行われた、「腰痛を起こさない介護技術研修」～介護現場の腰痛予防対策～にスタッフの一員として参加させて頂きました。研修の内容は、まずは腰痛の発生原因や腰痛予防のポイントについての座学、次に腰痛を起こさない介護技術の実技指導、最後に腰痛予防体操というものでありました。

約40名の参加者（主に介護職員）の皆様には熱心に取り組んで頂き、実技指導の際には、介助する側・される側を体験し意見を述べ合うなかで、「力をいれずに出来た」「介助される方も楽である」などの声があがり、介助において身体の使い方等のポイントがいかに重要であるかを実感して頂けたと思います。また職場での介助において上手いかわずに困っている点など個別の相談も受け、私自身が臨床において行っている介助法であっても、それを言語化し、尚且つ分かりやすく相手に伝えることの難しさを感じました。

今回、このような研修に参加させて頂き、私自身学べたことも多く貴重な体験となりました。そして、他職種の方に動作介助の方法を分かりやすく説明できるように、自身の知識・技術の向上に努め、今後もこのような機会があれば積極的に参加させて頂きたいと思います。

◇「第12回輝け・病気の子どもたち！リゾートキャンプ」参加

障害者福祉部長 青石 博文

平成26年9月20日（土）～21日（日）和歌山マリーナシティに於いて和歌山県難病の子ども家族会主催「輝け・病気の子どもたち！リゾートキャンプ」に運営協力致しました。

子どもさんの身の回りのお世話や遊び、入浴介助など子ども達のパワーに圧倒されたとても熱く有意義な2日間でした。

今年も例年同様に保護者の方々に対し「ストレッチ教室」を行いました。「普段運動しないから楽になったわ」や「体がスッパリしたよ」との声を頂戴しとても有意義な教室であったと思います。

当日ご参加ならびにご協力頂きました先生方におかれましては、入浴介助など様々な予定変更にも快く対応していただきこの場をお借りし御礼申し上げます。



事業名：第12回輝け・病気の子どもたち！リゾートキャンプ

主 催：和歌山県難病の子ども家族会

後 援：和歌山県（難病・子ども保健相談支援センター）

日 時：平成26年9月20日（土）～21日（日）

場 所：和歌山マリーナシティ

参加者：岩崎・木戸（栗原）、岩崎（さくらクリニック）、稲垣（愛徳）、岩阪（琴の浦）、吉岡（橋本市民）

青石・高野・山口（済生会有田）、奈良岡（有田市立）、土谷・西谷（リバティー博愛）、

辻（嶋本脳神経外科・内科）、皿谷利昌・皿谷菜緒美（和歌浦中央）、松浦（和佐の里）、

佐川（和歌山つくし医療福祉センター）

12施設 17名

◇「介護者のための腰痛予防教室 ～ビューティー・ストレッチ～」

日 時：平成26年9月21日

場 所：マリーナシティ わかやま館

内 容：難病障害児介護者への腰痛等予防運動指導

講 師：奈良岡 隆也（有田市立）

対 象：難病児の父兄、指導者等

「輝け・病気の子どもたち！リゾートキャンプに参加して」

介護老人保健施設 和佐の里 松浦 誠憲

9月20日・21日に和歌山マリーナシティで開催された上記の活動に参加させて頂きました。この活動は、難病の子どもたちとその御家族が相互交流を図る場として毎年開催されており、私は“遊び担当、入浴介助担当”として2日間、脳性麻痺と自閉症を持った男の子に関わりました。

事前に担当する男の子の情報を聞いていましたが、日頃は老健勤務の身であって病気を持った子どもたちと関わる機会がない私に何ができるのか、とキャンプ当日まで緊張していました。当日、担当する男の子とその御家族に会い、丁寧に子どものことを説明して下さる御家族と相手の男の子のニコニコした顔に救われ、緊張は徐々にほぐれました。2日間ともマリーナシティ周辺、ポルトヨーロッパなどあらゆるところを回り、男の子は動きっぱなし、私は男の子のバギーを運んだり男の子を抱きあげたりと、お互いに汗をかいていました。また、言葉のやりとりが難しい男の子だったので、彼の動きと時々出る声を頼りに何とか子どもに食らいついていたため、大変さと充実感が入り混じった2日間でした。

来年は和歌山国体が開催されるので、この時期にリゾートキャンプが開かれるかどうかは不明だそうですが、もし開催されるのであれば、もう一度参加してみようと思っています。参加したスタッフの皆様、本当にお疲れ様でした。

「輝け・病気の子どもたち！リゾートキャンプに参加して」

リパティ博愛 西谷 和起

平成26年9月20日、21日と初めてリゾートキャンプに参加しました。普段職場では高齢者の方ばかりを対象にリハビリを行っているために小児と触れ合う機会がなく、とてもいい経験になると思い参加を決意しました。

実際に参加してみるととても活発な子や電動車イスを使用している子、介助がないと身動きがとれない子など多数の子供たちが参加していました。

私が担当させて頂いたのは中学生ぐらいのお子さんと、とても活発な子でした。「ゲームセンターに行きたい」「魚釣りをしたい」「スタンプラリーを全部回りたい」などの希望が多く、走り回っている子で、実際に関わったのは二日間と短い間でしたが、二人で走り回り楽しい時間を過ごす事が出来ました。別れ際には「来年もまたきてね」と言ってくれとてもうれしかったです。

今回、この活動を通して普段は経験できないことを経験でき、とても勉強になりました。もちろん来年も参加したいと思います。またその他の事業参加にも活発に参加し、机上では学べない事をしっかり経験し学ぼうと思いました。



◇「介護予防につながる肩こり・ひざ痛予防と予防体操」

介護保険対策部長 赤澤 直紀

介護者の肩凝り・腰痛・膝痛の予防と予防体操のテーマで和歌山市家庭家族介護教室の事業協力を致しました。

介護者の腰痛等の痛みに関する悩みは、介護場面において深刻な問題になります。参加して頂いた方は、熱心に講義を聞いてくださり、予防体操にも積極的に取り組んで頂きました。本教室の内容が少しでも介護者の痛みの予防または緩和に繋がればと思います。

1回目

事業名：和歌山市家庭家族介護教室

講座名：「介護予防につながる肩こり・ひざ痛予防と予防体操」

主 催：和歌山市介護保険課

日 時：平成26年9月6日（土）

会 場：龍神整形外科（リハビリテーション室）

講 師：赤澤直紀（河西田村）

対象者：和歌山市在住住民 27名

運営協力者：佐野（済生会有田）、松井（国際厚生学院）、龍神（龍神整形外科）、中谷（河西田村）

2回目

事業名：和歌山市家庭家族介護教室

講座名：「介護予防につながる腰痛予防と予防体操」

主 催：和歌山市介護保険課

日 時：平成26年10月4日（土）

会 場：龍神整形外科（リハビリテーション室）

講 師：赤澤直紀（河西田村）

対象者：和歌山市在住住民 16名

運営協力者：阿川（辻秀輝整形外科）、松井（国際厚生学院）、龍神（龍神整形外科）、中谷（河西田村）

「介護予防につながる肩こり・膝痛予防と予防体操に参加して」

河西田村病院 中谷 聖史

平成26年9月6日（土）に龍神整形外科リハビリテーション室にて行われた、「介護予防につながる肩こり・膝痛予防と予防体操」に運営スタッフの一員として参加させて頂きました。本事業は、市内在住の在宅で高齢者を介護しているご家族様や、介護予防や健康増進のため肩・膝痛予防に興味のある方を対象に行われ、今回27名の参加がありました。内容としては、肩こりや膝の痛みの発生原因についての説明、またそれに対する予防法となる自宅でも簡単にできる体操をまじえ、参加者の皆様にも体を動かして頂きました。そして、前後半の休憩においては参加者からスタッフへの個別相談もあり活気に満ちた時間でありました。個別相談のなかでは、膝痛に対して減量が良いというのはテレビ等で知っていたが、急激な過度の減量は筋肉量も低下させてしまうこと、減量は1か月で1%が目安となることなど、はじめて知ることや、具体的な数値目標が提示され、わかりやすかったとの声が聞かれました。本事業を

きっかけに、参加者の皆様が、自身の健康や介護予防の必要性について考えを深め、実行して頂ければ嬉しく思います。

今回、参加させて頂き、参加者の健康維持・増進に対する意識の高さを知ることが出来、貴重な体験となりました。今後もこのような機会があれば積極的に参加させて頂きたいと思います。



◇「特定疾患のリハビリテーション研修会」

地域リハ推進部長 中口 孝昭

和歌山市在住のパーキンソンの患者さんに対して最新の理学療法について講義と実技を行いました。我々理学療法士は対個別の治療を主に行いますが、このような講習会を行い「リハビリ（理学療法）は大切です。」と訴え、日常生活の一助となる支援も大切だと思います。ご参加ご協力いただきました先生方にこの場を借りてお礼申し上げます。

事業名：特定疾患のリハビリテーション研修会

主 催：和歌山市保健所保険対策課難病対策班

日 時：平成 26 年 9 月 27 日（土）

場 所：和歌山市中央保健所 1 階大ホール

対 象：和歌山市在住パーキンソン患者とその家族 53 名

参加者：小橋（恵友病院）、林元（訪看はやしもと）、川口（中谷病院）、阿川（辻秀輝）、山本（横手クリニック）

高野（済生会有田）、河口（寺下病院）、岩崎・森本（栗原整形）、中口（有田市立）、松井（国際厚生）

「特定疾患のリハビリテーション研修会に参加して」

寺下病院 河口 紗織

平成 26 年 9 月 27 日に行われた和歌山市に住まわれるパーキンソンの患者さんを対象としたリハビリテーション研修会に参加しました。講師は和歌山国際厚生学院の松井先生で講義と実技を行い、私は実技の補助としてお手伝いさせていただきました。内容は講義、実技、相談会の 3 部構成で、講義では「運動イメージ」を中心に行い、実技では椅子に座ってできる運動をメインにしっかりと体を動かしました。参加者は皆さん真剣に話を聴いておられました。相談会では質問が多くあり、今回の実施事業において、介護者に対しても、身体機能を維持していくために運動を行うことの重要性を理解していただいたと思います。私自身も大変勉強になりました。参加していただいた先生方にお礼申し上げます。





◇「健康福祉イベント」参加

地域リハ事業推進部長 中口 孝昭

海南市、上富田町の健康福祉イベントに和歌山県PT協会のブースを出展しました。

この事業を他の市町村でも展開したいと考えています。我々が地元の方々に専門職としてのPTを広報できる一番の機会だからです。マニュアル・展示パネル・そして配布グッズ準備しております。

参加ご協力いただける先生！またご自分の地域の祭りで出展されたい先生！一報をお待ちしております。

◇海南市民健康まつり 事業参加

事業名：第10回 海南市民健康まつり

主催：海南市

日時：平成26年10月19日（日）

場所：海南市保健福祉センター

内容：くび肩・腰・膝疾患その他、住民等に対するリハビリ相談

対象：海南市住民、保健福祉関係者

参加者：田伏（辻秀輝整形）、永春（海南医療）、鍋嶋恵（辻整形）、畑中（恵友病院）

「海南市民健康まつりに参加して」

恵友病院 畑中 皓治

平成26年10月19日（日）海南市保健福祉センターにて第10回健康まつりが開催されました。

和歌山県理学療法士協会からもブース参加で会員4名が参加、在宅でのリハビリや健康相談、杖の点検及び協会活動のパネル展示などで協力させて頂きました。当日は快晴で私たちのブースに50～60人の方が来られて大変にぎわっておりました。今回の相談に来られた方々は、症状としてはまだ現れていない、予防することにより寛解する方もおられたと思います。こういった方達を、運動指導等を行うことで予防し、減らしていくことも私たちの仕事の一つだと感じました。

今回参加させて頂いたことで、リハビリに通院されていない方の生の声を聞くことができ、大変良い経験ができた、勉強になりました。最後になりましたが、一緒に御参加頂きました先生方、御参加頂きました方々に感謝いたします。本当にありがとうございました。





◇かみとんだ健康福祉と文化のまつり 参加

事業名：かみとんだ健康福祉と文化のまつり

主 催：上富田町

日 時：平成 26 年 11 月 2 日（日）

場 所：上富田福祉会館

内 容：くび肩・腰・膝疾患その他、住民に対するリハビリ相談

対 象：上富田町住民、保健福祉関係者

参加者：木下（自宅）、須賀・廣田・中山（白浜はまゆう）鳥淵（訪看ふるさと）、大江（玉置病院）
武田（紀南病院）、泉（成華苑）、堀（上富田町社協）

「かみとんだ健康福祉と文化のまつりに参加して」

紀南病院 武田 真和

11 月 2 日、上富田町で行われた『かみとんだ健康福祉と文化のまつり』に参加させて頂きました。

あいにくの雨模様にも関わらず、和歌山県理学療法士協会のブースには 200 名以上のお客様が訪れ、大いに賑わいました。ご来場いただいた方々は腰痛、肩・膝関節痛の主訴が大半で、展示した資料をもとにリラクゼーション方法や筋力増強運動などアドバイスをさせて頂きました。

一方、理学療法士という資格は認知されているものの、「どこに行けばみてもらえるのか」、「施行に際し、医師の診察が必要なら手間と時間がかかる」、「整骨院が近くにあるから」と言った言葉が多く聞かれました。今後もこのような活動を通じて、我々の知名度を高めるとともに、裾野を広げるよう努力したいと思います。機会を頂きありがとうございました。



◇第 83 回地域リハビリテーション講座

福祉保健局長 松井 有史

毎年 2 回行っている「地域リハビリテーション講座」です。今年で 83 回目となりました。今回は平成 26 年 10 月 25 日に和歌山市でパーキンソンの患者さん対象にリハビリテーション講座を和歌山市中央保健所にて開催いたしました。60 名を超える参加人数となり大いににぎわいました。運営にご協力頂きました先生方ありがとうございました。

事業名：第 83 回地域リハビリテーション講座

日 時：平成 26 年 10 月 25 日（土）

場 所：和歌山市中央保健所 5 階大ホール

対 象：和歌山市在住パーキンソン患者とその家族 62 名

参加者：岩崎・森本（栗原整形）、小橋（恵友病院）、鍋嶋（辻整形）、赤澤・中谷（河西田村）
井上（きのしたクリニック）、中口・奈良岡（有田市立）、河口（寺下病院）、松井（国際厚生）



「第 83 回地域リハビリテーション講座に参加して」

きのしたクリニック 井上 誠

今回で 83 回目となりました地域リハビリテーション講座です。今回は和歌山市保健対策課難病対策班のご協力のもと和歌山市在住のパーキンソン患者さん対象に講座を開きました。パーキンソン病患者、またその家族と講義・実技・交流会を実施する中で、運動の重要性を改めて感じました。講義内容は最新のリハビリテーションとして、今回の動作をイメージする運動はエビデンスもあり、在宅でも続けやすいものと思い選択しました。普段の生活での問題点や家族の介助負担などを実際に肌で感じ、地域での取り組みは重要であり、定期的な研修・交流会を必要とされている方も多いと思いますので少しでもお役にたてたらと感じました。

研修後は、「運動が大事なのは分かるが、実際続けるのは難しい」、「少しでも動きやすくなるにはどうしたらいいのか」、「他のパーキンソン病患者との関わりは必要」等の様々な感想・意見がありました。今後も理学療法士による運動指導や研修参加により、地域でのサポートは今後も必要であると感じました。最後になりましたが、参加ご協力いただきました先生方に厚く御礼申し上げます。



※地域包括ケア推進リーダー養成導入研修会・介護予防推進リーダー養成研修会につきましては次号で報告いたします。

社会局より

社会局 診療報酬身分対策部 杉本 恵章

平成 26 年 7 月 27 日に和歌山県立医科大学附属病院臨床講堂 1 にて、施設の理学療法士長研修会が開催されました（69 施設 120 名参加）。中前会長の挨拶に続き、日本理学療法士協会理事の山根一人先生より、「2025 年を目指して」というタイトルにて講演がありました。

年齢別にみた各種データを基に、特にこれからは労働人口が減っていく中で（昨年～20 年間にわたり 1400 万人の減少！）85 歳以上の高齢者割合がどんどん増加し、2025 年で約 2 倍、2060 年で約 4 倍増加すると試算されており、これらの方々を支えるため、定年の延長等の施策が打ち出されるかも知れないとの事でした。またこれだけ労働人口が減少していく中で 2025 年までに約 100 万人の介護労働人口が必要であるとの事でした。

独居老人の増加や在宅での看取りの問題、外来通院困難による在宅医療のニーズ増大や認知症高齢者の重度化等により、医療費、介護給付費や保険料がますます増大する背景から、ケアマネジメントの組み立て方が非常に重要になってくるとの事でした。

地域包括ケアシステムでは中学校区（人口約 1 万人）に設定され、住まいを中心として、介護・医療・生活支援・介護予防が連携しながら関わっていきます。今後、要支援者における介護予防給付は介護保険から切り離され、地域支援事業に移行されていきますが、老人クラブや自治会を利用した地域のネットワーク作りが重要となってきます。介護だけでは地域包括ケアシステムの構築は困難なため、地域包括ケアシステム構築に向けた医療の先行改定（今年度）が行われ、7 対 1 入院基本料を算定する施設に対して自宅等退院患者割合の導入や効果的な退院調整を促すための各種加算等の設定により、在宅復帰を促す動きが活発化しています。

今後、市町村において開催される地域ケア会議に理学療法士が参入できるようにアピールしていく必要があります。医療介護連携や地域ケア会議への参加、生活支援、介護予防等は理学療法士が最も得意とする分野であり、理学療法士が最も力を発揮できる分野であるとお話でした。

次に中前会長から地域包括ケアシステム推進アクションプランとして、和歌山県理学療法士協会としての活動内容につきまして報告がありました。対外的活動や組織内活動、具体的方策、会員への広報、外来講師による講演会等について説明がありました。

最後に岩崎理事から地域包括ケアシステムに関する推進リーダー制度について説明がありました。地域包括ケアシステムの中でも特に「地域ケア会議」、「介護予防」にて活躍出来る人材育成のため今年度より導入され、それぞれ地域包括ケア推進リーダー及び介護予防推進リーダーがあります。推進リーダー制度は手続きがやや複雑なため、説明会も開催されます。会員により要件が異なりますが、登録申請後に e-ラーニングの受講や導入研修の受講、士会指定事業への参加により推進リーダーとしての資格が付与されます。

今後、地域包括ケアシステムに理学療法士が積極的に参入していくためには、会員一人ひとりの意識づけが重要となります。特に若い会員の先生方においては自分の未来につながる大事な事ですので、他人任せにするのではなく真剣に考えて行く必要があると思います。理学療法士一人ひとりがそれぞれの立場で一生懸命に自分の役割を果たし、国民の皆様が必要とされる存在になれるよう積極的なアピールや研鑽が必要と思われます。

厚生局より

◇第 19 回 WPT 杯ゴルフコンペ開催

幹事 日根 孝方

悪天候の中、11 月 9 日、白浜ビーチにて、第 19 回 WPT 杯ゴルフコンペが 16 名の先生方の参加にて、開催されました。半分の 8 名がシニアの年代（50 歳以上）で、ベテランと若手が合い交えて楽しい大会となりました。シニア世代の岩田先生（貴志川リハビリテーション病院）が、初優勝をされました。2 位はベスグロスコアを出した若手世代？の菅井先生（あきつ）でした。

次回、第 20 回 WPT 杯は、2015 年 2 月 22 日（日）に、白浜ビーチにて開催されます。若手世代の先生方、奮って参加して下さい。



広報局より

広報局担当理事 吉富 俊行

◇「理学療法週間」報告

1. 高校生の施設見学会の実施

平成26年7月22日～8月29日の夏季休暇の期間、将来、理学療法士になることを目指す高校生を対象とした施設見学会を実施しました。県下40か所の高校に案内を配布し、12施設において9高校、計17名の参加がありました。見学に来られた高校生の中から、一人でも多くの理学療法士が誕生することを期待したいと思います。快く見学を受けて頂きました会員の皆様にお礼申し上げます。

2. 高野山での杖の無料点検会の実施

平成26年7月20日（日）、朝8:00より高野山 金剛峯寺 奥の院 中の橋参道前にて、参詣者の使用している杖の杖先ゴムの無料交換や高さ調整、車椅子使用者のタイヤ空気圧・フットレスト高の調整を実施しました。

連休の中日で高野山を訪れる観光客や参拝者が非常に多く、今年で6年目のイベントでしたが過去最高の杖先ゴムの交換（26個）を行いました。また金剛峯寺所有の貸し出し用車椅子の修理点検も実施し、破損個所の多い車椅子の部品を他の車椅子に使い、パンクの修理、虫ゴムの交換、グリスアップ等を実施し、数台の車椅子が使用可能となりました。当士会オリジナルうちわとポケットティッシュの配布も行い、1300枚が約6時間ですべてなくなりました。実施した方や家族には大変感謝され、「お大師さんのご利益や」という声を今年もたくさん頂きました。

協力会員：阪口・永春・場谷（海南医療センター）、井澗（済生和歌山）、前田（紀和病院）、吉富（日赤）

「高野山事業に参加して」

海南医療センター 場谷 理範

今回、高野山での活動に参加させて頂き、貴重な体験をしました。高齢化社会が進む現在において、実際の高齢者の方の生活像を一部垣間見たような気がします。今回の活動では、高野山に参拝に来られた方の、車椅子や杖の点検・調整などを行いました。

参拝者の中には杖や車椅子の方も多くいました。点検させて頂いた人の中には、杖の高さやゴムを購入当初のままずっと使用されている方が多くみられました。中にはゴムが擦り切れて金具が突出している方もいました。杖先ゴムを交換し、高さも調整したりしました。調整後、参拝に行かれた帰りがけに「歩きやすくなったよ。ありがとうございます」と笑顔で感謝して頂けましたが、私自身が相手の方々に感謝の気持ちでいっぱいでした。生活の一部に関わることができたような気がしてとても嬉しく思いました。20分以上かかる道のりを自分で歩いて行きたいと車椅子を使用せず杖で歩いて参拝される方が多くいらっしゃいました。そういった方々に杖を調整したり、補修したりすることで少しお手伝いできたようにも思います。

また今回、他府県の理学療法士の方にもお会いし、交流を持つことができました。「和歌山ではこういった活動をさ

今回の活動で高野山に参拝に来られた方に理学療法士を少し知って頂けたのではないかと思います。このような活動が全国各地に広がっていく、また広めていくことが必要だと思いました。今後私たちが期待されていることは多くあるのだと学ぶ機会にもなりました。今後もこういった活動を私自身積極的にこなしていきたいと思っています。



4 大紙：毎日新聞（7/14）、朝日・読売・産経新聞（7/17）の和歌山版に「理学療法の日」のPR 広告を掲載。

[illegible]

日 時：平成 26 年 7 月 13 日（日）9：00～12：00
場 所：有田川町金屋文化保健センター
講 師：大淵修一 先生（東京都健康長寿医療センター研究所）
対 象：有田川町民 55 名、介護予防事業関連職員 7 名
内 容：講演、身体機能評価、介護予防指導
後 援：有田川町、有田川町社会福祉協議会

要介護回避へ
運動方法指導

体力的な美しさ
「理念」を美し
「目」を「術」に
を前に「術」に、有
田町金屋文化健康セ
ンターで介護予防進
ゼミナール「介護防
びにせまふんか」健康
寿命の延ばし方（県
理学療法士協会主催）
が開催され、東京製健
長春医療センター・研究
所高齢者健康増進事業
支援の大淵聡一室長
が講演した。

大淵室長は「要介護
の原因となる関節疾患、
転倒骨折など、老年症
肉と関節の健全性を維
持し、骨太く、脳太
くにつなげる」と語
り、座ったままできる運動
などを参加者約70人に
指導した。

参加者の体力測定も
行われた。70代の女性
は「要介護を避ける方
法がなかなかよくし
ていない」と話し
ていた。

【天倉健次
県内の遺跡説明
昨年度成果報告
報告会に加入
県内文化財調
査報告会・地室
のひびき（県

◇バリアフリー体験学習会の報告

1. 協会主催事業

日 時：平成 26 年 10 月 11 日（土）9：00～11：00

場 所：広川町立南広小学校

対象者：6 年生児童 保護者 教員 約 70 名

参加者：宮原・北野・伊豆（済生会有田）谷口（有田市立）、林（有田南）、岩城（辻秀輝）

阪口・場谷（海南医療）、前馬・吉富（日赤） 以上 10 名

「バリアフリー体験に参加して」

済生会有田病院 伊豆 周剛

平成 26 年 10 月 11 日に、広川町立南広小学校で開催されました、バリアフリー体験に参加させて頂きました。私自身、同校の卒業生で、5 年生の頃にこのバリアフリー体験に参加していました。不思議なもので母校に理学療法士としてバリアフリー体験に参加させて頂けるなんて夢にも思いませんでした。

今回の、バリアフリー体験の内容は、松葉杖体験、車椅子体験、視覚障害者体験、自助具の説明というものでした。普段、職場では整形の手術後の方や骨折患者さんに対して、車椅子や松葉杖の使用方を説明させて頂いています。しかし、小学生の子供に対しての経験はほとんどありませんでした。参加された父兄の方や子供たちも今までに、松葉杖や車椅子を使ったことがない方がほとんどでした。体験開始前の説明で子供たちは、車椅子や松葉杖に興味がいきなかなか説明を聞いてもらう事が難しかったです。しかし始めてみると、松葉杖、車椅子体験では少しの段差、溝、坂道が想像以上に負担で、参加されていた方からは「これはしんどい」や「普段気にしてなかった所も障害物なんや」という多くの声があり、少しでも普段の街中の環境が、障害者の方には大きな障害となる事を知ってもらえたと思います。

私たちは、普段生活していると、段差、坂、路面など意識せずに普通に過ごす事が出来ています。今回の体験は、私たちの目線では何ともない所も、障害のある方には大きな障害となるという事を多くの人たちに知ってもらえたと思います。このような体験に参加させて頂いてとてもいい経験になりました。

2. 県（海草振興局）主催事業

日 時：平成 26 年 11 月 9 日（日）13：30～15：30

場 所：海南市立中野上小学校

対象者：6 年生児童 保護者 教員 約 70 名

参加者：中谷・新田・楠本（野上厚生）、大西（真寿苑）、松浦（和佐の里）

阪口・西中・場谷（海南医療センター）、前馬・吉富（日赤） 以上 10 名



◇ふれあい人権フェスティバル 2014 への出展報告

日 時：平成 26 年 11 月 15 日（土）10:00～16:00

場 所：和歌山ビッグホエール

内 容：POST 協会の合同出展

参加者：南・辻（済生会和歌山）、阪口（海南医療）、坂本・安達・内原・吉富（日赤）
和歌山国際厚生学院 学生 4 名



ブロック通信

◇「奇特な人紹介」

第 6 ブロック くしもと町立病院 植山 貴美子

皆さんはこんな歌を知っていますか？『いっちねんせ～になったあ～ら♪ いっちねんせ～になったあ～ら♪ と
つもだっちひゃつくにん でっきるっかなっ♪ ひゃあ～つくに～んで たあべたあいなっ♪ ふうじさんのううえで
～ おおにぎりを～♪ ぱっくん ぱっくん ぱっくんとっ♪』

なんと、この歌を実現しようとしている変な理学療法士が第 6 ブロックにいるの
では是非紹介して下さい！

お名前は横嶋くん。紀南地方に住む 41 歳です。顔出し NG という事でトレードマ
ークのアヒル隊長が代わって登場です。「こんにちは～(^) /」 そんな横嶋くんによ
インタビューをしました。



植山：早速ですが、この歌を実現…ってどういう事ですか？

横嶋：僕は登山が好きで いろんな山に登ってるんですが、富士登山も勿論好きです。

富士山は難しい登山技術がいなくて、頑張れば誰でも登れる山ですからね。この歌みたいになったら面白い
なあ…って思って「富士山の上でおにぎりを～ツアー」を企画しまして…

延べ人数が 100 人になるまで続けようと思いました。



植山：普通は思わないですけどね。

さて、今年で 5 回目のツアーが開催されたそうですが、今ま
でに何人登ったんですか？

横嶋：延 78 人です。最年少は小学 3 年生、最年長は 62 歳。今まで
に脱落者はいなくて、なんと登頂率 100% です！

植山：凄いですねえ！あと 22 人じゃないですか！ツアー参加者には
登山の経験がない方もいると聞きました。そんな方たちを
山頂まで、3776m まで連れて行くのは大変でしょう？

横嶋：チームワークですね。助け愛です。合いじゃなく愛！です。
そして富士山より高いテンションで頑張りぬく！ 楽しい
ですよ～！(^)！

植山：^^：・・・

本当は事前に足慣らしハイキングをしたり、当日も水分補給や呼吸、ペース配分などに気を配って8合目までは絶対に疲れさせないようにコントロールしているそうじゃないですか。やってあげてる感を見せないところが憎いですね。

しかも、案内のチラシ作りから宿や車の手配、おやつの心配まで…

拔かりなくこなしてしまうんですから素晴らしいです。

横嶋：いやいや、出来ることをやってるだけです。

植山：この行動力や気配りが日頃の理学療法業務にも活かしている事を祈るばかりです。

横嶋：任せて下さい。

植山：「富士山の上でおにぎりを～ツアー」の企画・運営を継続できている理由は何でしょう？

横嶋：苦しく楽しい富士山登頂を成し遂げて感動している人から感動を貰う…

参加してくれた人数分の感動が僕を動かしてくれてるんです！100人の友たちが富士山頂で感動のおにぎりを食べるまで頑張ります！



どこまでもアツイ横嶋くん… そんな横嶋くんは来年の「わかやま国体・わかやま大会」のコンディショニングサポート協力員の一人です。きっと全国から集結するアスリートたちに和歌山県の理学療法士のアツさをアピールしてくれることでしょう！

地域局より

【紀北地域局】

紀北地域局担当理事 永金 宣秀

日 時：平成26年10月11日（土）15：00～18：00

場 所：名手病院 研修棟 わかばホール

参加人数：11施設 48名

内 容：症例発表会 2セッション 8症例

第1セッション 座 長 梅下 治彦（介護老人保健施設 さくらの丘）

1. 脳挫傷後、変形性膝関節症に対する理学療法 ～疼痛軽減が得られ、歩行能力が改善した一症例～

名手病院 人見 卓磨

2. 右肩鎖関節脱臼を呈し観血的固定術を施行した症例 ～仕事復帰に向けて～

貴志川リハビリテーション病院 松崎 高至

3. 肺癌患者におけるがん治療後のスポーツ復帰を目指した一症例

公立那賀病院 高橋 恵美

4. 認知機能への介入が、運動機能の安定につながる左大腿骨頸部骨折の一症例

山本病院 吉田 愛理

第2セッション 座 長 山本 義男（和歌山県立医大 紀北分院）

1. LR～Mst での左膝ロッキング現象の改善を目指した左膝蓋骨骨折後患者の一症例

はしもと整形外科 上野 貴大

2. 橋中心髄鞘崩壊症を呈した症例を通して

橋本市市民病院 松田 恒輝

3. 歩行動作における右立脚中期の支持性低下を呈した弛緩性右片麻痺症例

紀和病院 辻本 麻帆

4. 右踵骨骨折・左下腿骨骨折を呈した症例 ～両側PTB装具除去後の歩行に着目して～

貴志川リハビリテーション病院 中口 拓真

会 議

日 時：平成26年7月8日（火）19：00～
場 所：名手病院
内 容：第1ブロック スケジュール会議
参加人数：5施設8名

日 時：平成26年10月11日（土）14：00～
場 所：名手病院
内 容：第2回紀北地区勉強会について
参加人数：4施設6名

【和歌山市地域局】

和歌山市地域局担当理事 辻中 清晃

和歌山市地域局研修会（第2cブロック担当）
日 時：平成26年6月26日（木）19：00～20：30
場 所：和歌山国際厚生学院
内 容：『スポーツ現場におけるトレーナー活動～選手から得た経験をもとに～』
講 師：河西 紀秀 先生（高島整形外科）
参加者：21施設56名

「河西先生の講演を聞いて」

角谷リハビリテーション病院 鳥羽 美智子

実際の現場での活動について貴重なお話を聞くことが出来ました。コンディショニング不足による障害が多いということで、選手に対して自己管理教育の必要性について再認識しました。また、応急処置の知識や技術も必要になり、実際サポートに行った時に生かせるように、知識の補充や技術練習もしていきたいと思います。

【中紀地域局】

中紀地域局担当理事 西川 典男

日 時：平成26年5月14日（水）19：00～20：30
場 所：済生会有田病院
内 容：中紀局役員会議
参加者：西川、鍋嶋、橋尾、戸田、畑中、浅井、前田、佐々木、永春、佐野、戸根、塩路、宮本

日 時：平成26年7月19日（土）15：00～17：30
場 所：済生会有田病院
内 容：中紀局親睦研修会 『運動器リハ再考 ～セルフエクササイズの勧め～』
講 師：鍋嶋 崇之（辻整形外科）
参加者：60名

日 時：平成26年7月19日（土）18：30～21：00
場 所：鮎茶屋
内 容：中紀局新人歓迎会
参加者：41名

日 時：平成26年8月24日（日）9：00～15：00
場 所：吉備ドーム
内 容：新人教育プログラム（PPT）（学術局共催）
講 師：D-1 社会の中の理学療法（畑中 皓司） 89名参加
D-2 生涯学習と理学療法の専門領域（浅井 琢也） 79名参加
D-3 理学療法の研究方法論（EBPT含む）（安岡 良訓） 23名参加
D-4 理学療法士のための医療政策論（永春 太輔） 23名参加

日 時：平成26年9月27日（土）14：00～17：00
場 所：吉備ドーム
内 容：地域再生医療補助金による研修会『脳科学とリハビリテーション』
講 師：竹林 秀晃（土佐リハビリテーションカレッジ 学科長）
参加者：40名

【紀南地域局】

紀南地域局担当理事 安井 常正

第1回紀南地域局研修会

日 時：平成26年7月5日（土）13：00～18：00
場 所：新宮市立医療センター
参加者：32名
内 容：「前庭リハビリテーションの基礎」
講 師：浅井 友詞 先生（日本福祉大学 健康科学部 教授）
内 容：「前庭リハビリテーションの臨床」
講 師：森本 浩之 先生（水谷病院 理学療法部 課長）

親睦会

日 時：平成26年7月5日（土）19：00～
場 所：心楽
参加者：18名

第6ブロック

会議

日 時：平成26年5月9日（金）18：00～
場 所：新宮市立医療センター
内 容：今年度の事業予定、役割等
参加者：6施設20名

勉強会

日 時：平成26年5月9日（金）18：30～
場 所：新宮市立医療センター
内 容：「片麻痺患者に対する治療介入」
担 当：西畑 将史（新宮市立医療センター）
参加者：6施設20名

新人歓迎会

日 時：平成26年5月9日（金）19：30～
場 所：穴場
参加者：4施設13名

勉強会

日 時：平成26年7月31日（木）18：30～
場 所：老健 みさき
参加者：4施設10名
内 容：「介護骨折の防止について」
担 当：北地啓元（老健 みさき）

勉強会

日 時：平成26年11月13日（木）18：30～
場 所：みくまの支援学校
参加者：4施設10名
内 容：「障害者スポーツ レクリエーションポッチャの紹介」
担 当：北地啓元（老健 みさき）

各委員会より

◇紀の国わかやま国体支援特別委員会より

2014 長崎がんばらんば大会視察調査報告

紀の国わかやま国体支援特別委員会 委員 玉置 俊男

日 時：平成 26 年 11 月 1 日（土）～2 日（日）

場 所：11 月 1 日 県立総合運動公園陸上競技場（諫早市） 11 月 2 日 長崎市民総合プール（長崎市）

視察者：日本赤十字社和歌山医療センター 玉置 俊男・高根 良輔

視察調査内容：

11 月 1 日

陸上競技コンディショニングルームでの活動の見学と、代表者からの聞き取り調査
コンディショニングルーム代表者 池上 功 先生、川上 哲朗 先生

11 月 2 日

水泳競技コンディショニングルームでの活動の見学と、代表者からの聞き取り調査
コンディショニングルーム代表者 岡 誠一 先生

上記日程で、長崎県にて「長崎がんばらんば大会 2014（第 14 回全国障害者スポーツ大会）」が開催されました。次年度和歌山県で開催される「紀の国わかやま国体・わかやま大会」準備のための視察調査として、コンディショニングルーム活動の見学と代表者からの聞き取り調査を行いました。

コンディショニング内容としては、試合前後の選手に対し約 20 分程度のマッサージやストレッチを行うことが最も多く、その他必要に応じてテーピングを実施していました。また時間帯によっては選手が殺到するため、その時は対応に忙しく苦慮したと聞きました。今回は障害者スポーツ大会の視察調査ということで、何か特別なコンディショニングが必要なのかと思っていましたが、視察した時は特にそのようなことを感じませんでした。

長崎県では理学療法士協会と他団体とがコンディショニングルームを共同運営していたため、理学療法士のコンディショニング従事者数は和歌山県開催時に予定しているよりも少ない人数で実施出来ていました。一方、和歌山県理学療法士協会では単独でのコンディショニングルーム開催を予定しているため、現在登録されているコンディショニング参加者は、必要人数を大きく下回っています。このままでは各競技のコンディショニングルーム運営に必要な人員を配置できない状況です。

是非「紀の国わかやま国体・わかやま大会」成功のために、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



◇国体サポート「コンディショニング、コンディショニングルーム」ってなに？

来年度、紀の国わかやま国体(第70回国民体育大会)・わかやま大会(第15回全国障害者スポーツ大会)が開催されます。この大会に全国から来県する選手に対して、各競技で開催県としてコンディショニングルームを開設し、万全な状態で選手が大会に臨めるよう、スポーツマッサージ、ストレッチ、テーピング等のサービスを提供することです。

コンディショニングの目的は、あくまでも選手がリラックスし、体調を整えてもらうことであり、治療が目的ではありません。またこれは、各県が当該競技に理学療法士やトレーナーを帯同させてコンディショニングにあたっているものとも意味が違います。あくまでも、開催県としてオープンプールで当日申し込みのあった選手に対して、コンディショニングの実施を予定しています。

全国から来県する選手の皆さんに思い出深い大会となるよう、また協力して頂いた皆様方にとっても心に残る大会となりますよう、ご協力よろしくお願い致します。

(参加申込み、その他詳細は協会ホームページをご覧ください)

事務局より

他団体・他士会からのニュース 学術誌の受領報告 (H26.6.18～H.26.11.14)

【ニュース】

(公社)新潟県 No.166	(公社)大分県 No.99(160)、No.100(161)
(公社)滋賀県 No.185、No.186	(一社)静岡県 No.145、No.146
(公社)広島県 No.232、No.233	(公社)佐賀県 No.99
(一社)愛知県 No.174、No.175	(公社)大阪府 No.244、No.245、No.246
(公社)神奈川県 No.258、No.259	(公社)熊本県 No.116
(公社)秋田県 No.159、No.160	(公社)鹿児島県 No.56(95)、No.57(96)
(一社)群馬県 No.118、No.119	(公社)岐阜県 No.109、No.110
(社)富山県平成26年度 No.1(133)、No.2(134)	(一社)京都府 No.261、No.262
(公社)茨城県平成25年度年報	

【学術誌・学会誌・機関誌・記念誌】

志(こころざし) 第5号 {(公社)大分県理学療法士会 広報誌}
障害者スポーツ情報誌 NO Limit Vol.58
理学療法いばらき Vol.18 No.2 2014
高齢者施設における 福祉用具レンタル導入・運用マニュアル
和歌山県病院協会会報 平成26年7月号 No.221
理学療法 東京 Vol.2 2014
愛知県理学療法学会誌 Vol.26 No.1 2014
言の葉 和歌山県言語聴覚士会機関誌 第14号
理学療法群馬 No.25
静岡理学療法ジャーナル 第29号
(公社)福岡県理学療法士会広報誌 「びしゃっと」
和歌山県病院協会会報 平成26年9月号 No.222
北海道理学療法 Vol.31 2014
第65回北海道理学療法士学会 プログラム・抄録集
第28回鹿児島県理学療法士学会 プログラム・抄録集
第23回 埼玉県理学療法学会 抄録集

以上の刊行物をご覧になりたい方は、

事務局、資料調査・管理部の酒井雄亮氏(琴の浦リハビリテーションセンター)までお問い合わせ下さい。

■事務局からのお願い■

庶務部より

庶務部長 小田 佳亮

施設長名変更時のお願い

変更があった場合、速やかに協会庶務宛に FAX またはメールにてご連絡下さい。

協会事務局 FAX：073-446-1207

メールアドレス：wpt-shom@pt-wakayama.or.jp

記載の内容に関しては、変更前の氏名と変更後の氏名の両方を記載お願いします。

また、フリガナの記載もよろしくお願い致します。

FAX にて送信して頂く場合は文字を大きめで崩さずに記載して頂けるようにお願いします。

編集後記

2014 年もあとわずかとなりました。

会員の皆様いかがお過ごしでしょうか？ 今年 1 年は充実した年でしたか？

さて協会は今年 1 年、国の目指す「地域包括ケアシステム」への参画に向け、福祉保健局を中心に県下各地での説明会の実施、紀北および紀南地域での推進リーダー研修の開催と非常に忙しい年でありました。

会員数が 1000 名を超え、組織としては大きな団体に成長しつつありますが、中身の伴う有能な団体になるには会員一人ひとりの高い知識と技術が必要であり、それぞれが理学療法士という名前を背負ってあらゆる場面で活躍しアピールすることです。

協会発展のチャンスは地域包括ケアシステムへの参入だけでなく、来年 9 月に和歌山県で開催される「紀の国わかやま国体」ならびに「紀の国わかやま大会」への協力において、我々の技術提供によって理学療法士の有能性を知って頂くいい機会となります。

来年が当協会にとって飛躍の年になるかどうか、それは一人の会員の小さな一歩から始まります。皆様、協会発展のため共に歩んでいきましょう！

(吉富 俊行)

公益社団法人 和歌山県理学療法士協会
【事務局】
琴の浦リハビリテーションセンター内
〒641-0014 和歌山市毛見1451
TEL 073(499)5000